

## 畜肉・魚肉製品に含まれる卵アレルギー ovomucoid の Inhibition ELISA 法 による測定

○小谷スミ子, 今井請一郎, 小島正史 (新潟大教育)

【目的】 畜肉・魚肉製品には主原料以外に多くの成分が添加されている。その中には卵アレルギーを引き起こす可能性のあるものもある。今回はこれらの製品に含まれる卵アレルギーとしてオボムコイド(以下 OM と略) 含量を測定することを目的とした。

【方法】 試料 10g に 0.01M リン酸緩衝液-0.15M 塩化ナトリウム (pH7.2) 30ml を加え、ホモゲナイザーで摩砕したのち超音波で固形物がなくなるまで処理した。冷蔵庫で一晩静置抽出したのち 11,500r.p.m、10°C で 20 分間高速冷却遠心分離を行い上清を抽出液とした。抽出液中の OM 量は戸叶らの方法により Inhibition ELISA にて測定した。OM に対する抗体はウサギを用いたフロイントのアジュバント法により作成した。

【結果】 畜肉・魚肉製品に含まれる OM 量は製品により大きく異なった。1) ウィナー(12 社 14 製品)の OM は 0~2.4mg%と少なかった。卵タンパクの表示がある製品に 0~0.9mg%、表示がない製品の 1/3 に 0.5~2.4mg%の OM が検出された。2) ハム(9 社 16 製品)の OM は 0~145.8mg%であった。卵タンパクまたは卵白の表示がある製品の OM は 0.1~9.8mg%、50.3mg%、89.8~145.8mg%の 3 グループに分けられた。表示のない製品の 2/5 に 0.2~2.2mg%の OM が検出された。3) ベーコン(5 社 7 製品)すべてに卵タンパクの表示があり、OM は 0.2mg%、25.4~58.5mg%、117.5~178.5mg%の 3 グループに分けられた。4) 魚肉練製品(1 社 6 製品)の OM は 7.5~188.5mg%であった。卵白表示のある鯛入り笹かまとはんぺんの OM が多くそれぞれ 188.5mg%と 178.9mg%であった。蒲鉾と竹輪は卵白表示の有無にかかわらず OM が検出され 7.5~42.9mg%であった。以上、畜肉・魚肉製品の OM 量は卵タンパク表示または卵白表示の有無に関わらずメーカー、製品ごとに異なることが明らかとなった。